



西尾いきものふれあいの里だより

7月号

2026.7.1 発行

さとやま

7月の里といきもの



今年は春からエルニーニョ現象が発生しており、秋まで続く見込みです。一般的にはエルニーニョ＝冷夏、梅雨明けが遅いというイメージがありますが、近年は地球温暖化の影響が強く、エルニーニョでも太平洋高気圧が強まる年が増えています。そこで、平年並み～やや早い梅雨明けになりやすく厳しい暑さの夏になりそうです。

梅雨明けとともに昆虫の動きは一気に活発になり、田んぼではトンボが飛び交う季節へと移り変わります。

また、ブナ科の落葉高木**コナラ**などの木に、多くの昆虫が集まり、小さな生態系をつくれます。コナラは、粗く縦に裂けた灰褐色の樹皮が特徴です。葉は倒卵形で、縁に丸みのある鋸歯が並び、裏面はやや白っぽく見えます。秋には細長い1.5～2cmほどの、楕円形で殻斗（かくと：帽子の部分）がうろこ状の鱗片がある、どんぐりを実らせます。



コナラに集まる昆虫



コナラの葉とどんぐり

コナラなどの幹に傷がつくと糖分を多く含む樹液がにじみ出て、酵母の働きで発酵しやすく、甘酸っぱい匂いを放ちます。この匂いに誘われて甲虫や蝶、蜂などがやってきます。

甲虫ではコガネムシ科（コガネムシ、カブトムシなど）、カミキリムシ科（ミヤマカミキリなど）クワガタムシ科（ノコギリクワガタなど）といった様々な種類が樹液に集まり、しばしば他の昆虫とよい食事場所をめぐる争いをします。



カブトムシ



ミヤマカミキリと
カナブン



ノコギリクワガタ



キマダラヒカゲ



コムラサキ（雌）



ゴマダラチョウ

蝶は、花に集まるイメージですが、ジャノメチョウ科（キマダラヒカゲなど）、タテハチョウ科（コムラサキ、ゴマダラチョウなど）は、樹液や腐った果物の方が好きな種類が多くあります。

ハエやスズメバチの仲間も樹液が大好きです。土の中や、木の穴に巣を作るオオスズメバチは、丈夫な顎で樹皮を噛んで、より多くの樹液を手に入れようとします。人が近付くと、大きな羽音を立てて周囲を飛びますが、巣の近くでなければ滅多に人を襲いません。振り払ったりして刺激せずに、ゆっくり立ち去ったり、ハチが飛び去るのを待ちましょう。



オオスズメバチ

この樹液に集まる昆虫を狙って被食者も集まります。

先ほどのスズメバチのなかまは、樹液だけでなく昆虫も捕食します。カマキリ科（ハラビロカマキリなど）のなかまのほかにも、クモのなかまなどの節足動物や、アマガエル科のニホンアマガエルなどの両生類、カナヘビ科のニホンカナヘビなどは虫類、そしてカラスなどの鳥類と、様々な生き物が、樹液を中心とした生態系を作り上げています。



里では、多くの人たちがこうしたいきものを観察できるように、カラスの捕食を減らすため、ダミーを吊るしています。ちなみに、里では生き物の採集は禁止です。他の来園者のためにも、とるのは写真だけにしましょう。

7月はこんないきものも見られます

菖蒲池の奥や田んぼエリアでは、サクラソウ科の多年草、ヌマトラノオが群生して、白い小さな花を茎の先に密集して咲かせます。花穂が垂れ下がる様子を「虎の尾」に見立てて名付けられたオカトラノオに近縁で、湿地に咲くため名付けられましたが、こちらは垂れ下がりません。

中央広場や、トンボの里、万灯山へ向かう道ではヤブミョウガの涼しげな白い花が見られます。ツユクサ科の多年草で、葉が似ていますが、ミョウガのなかまではありません

万灯山山頂では、「秋」と名がつくシソ科の多年草、アキノタムラソウが花盛りです。8月には「かぎ万燈の」草刈りのため、姿を消します。



夏本番の里で、熱中症に注意して、こんないきものを探して、里を散策しませんか。

6月の行事紹介



残念ながら、6月21日（日）の講座「里山の植物を使って遊ばせよう」は、参加人数不足で中止となりました。

今回は、5月下旬から6月初旬に見ごろになった花菖蒲の写真を掲載します。

7月の行事予定

18日（土） 19日（日）	夏の昆虫を探そう	各日 30名	AM9:30～11:30	当園職員
------------------	----------	-----------	--------------	------

内容 ～里山の自然の中を散策しながら、どんな昆虫がいるか探します。

カブトムシやクワガタなどの昆虫の探し方やつかみ方を実践します。

トンボやアゲハチョウなど実際にタモを使って採取し、観察した後、自然に戻します。

※両日とも受付開始は6月27日（土）からで、両日の申込みはできません。

8月の行事予定

2日（日）	里の小川でいきものを探そう	30名	AM 9:30～11:30	神本晃
-------	---------------	-----	---------------	-----

内容 ～山から湧き出る水は里山の水田にも使われていて、里山では大切な小川です。

このきれいな川にどんないきものが棲んでいるか、タモを使って採取し、観察します。

23日（日）	シーグラスを使ってペンダントづくり！	20名	AM 9:30～11:30	三矢由紀子
--------	--------------------	-----	---------------	-------

内容 ～西尾市の佐久島で集めたガラスの破片（シーグラス）を使ってアクセサリを作ります。

シーグラスができあがるお話から漂着ゴミのお話を聞いて自分のまわりのゴミについて考えてみよう。
(材料費：200円)

- ◇ 参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその同居家族までとします。なお、申込者が4名以下の場合は開講しません。
- ◇ 参加申込者は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。小さいお子さまには、目を配るのに十分な保護者の同伴をしてください。
- ◇ 当日の天候により、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、参加費は無料ですが、講座により材料費は実費を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ 各講座の詳細な内容については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28～1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課